

陸上貨物取扱業におけるトラックを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	9~10	荷役場にて積み込み終了後、ラッシングを行った際、トレーラー最後部の足場の狭い所にて作業を行ったため、足を踏み外し、コンクリートの床に右側面から落下して負傷した。	57	—
1	8~9	配達先構内にて荷降ろしの為トラックの荷台へ上ろうとした際、何らかの理由により足を滑らせ地上へ落下し、頭部を強打したと思われる。その後も目まい・ふらつきの症状があり、現在加療中である。	65	30~49
1	10~11	荷下ろし先の敷地内で荷下ろしする為に傾斜している道路にトラックを停車し、ドアを開け、座席横に右手をつき運転席から降車しようとした際に右手が滑り、転落した際、左顔面・首等を石垣等に打ちつけ負傷した。	64	—
2	17~18	構内にて、段ボールの梱包荷（180×50×20cm、4~5kg）をリフトより大型トラック荷台へ手積作業中、3個目の荷積動作の際、足下の確認不足により、荷台より踏み外し、頭部より転落した。	59	—
2	14~15	納品を終えて駐車スペースから車両を動かすため車両の右後方からバックの誘導をした。ストップの声を出すも止まらず、壁面と車両の間に左前腕を挟んでしまった。業務を進めるも痛みと腫れが増したこともあり、救急搬送され、病院を受診したところ、左手首を粉碎骨折していた。	33	—
2	11~12	当日、駐車場でタンクローリーのハツリの上で点検作業後、梯子から下りる時足を滑らせて、バランスを崩し体を捻って負傷した。	45	30~49
4	10~11	大型車運転中、前方の大型車の前の乗用車が急に右折ウインカーを出し急停止したため、前方大型車が急ブレーキをかけ、止まりきれず追突し腰を負傷した。	47	10~29
		構内にてトラック荷台後部より降車しようとしたところ、トラックの後部のバン		

4	15～ 16	パーにあるステップに足が乗らず、後方に転倒するかたちで地面に落ち、右腕を強打した。	51	50～ 99
4	12～ 13	バルク車に製品を積込ため積込バースに駐車し、運転席から降りるためドアを開け、運転席内に設置されているグリップ（握り棒）を持ちながら降りようとしたが、手が滑り運転席から地面に落下した。地面に落下した時の衝撃により、肋骨、腰椎横突起を骨折した。	42	30～ 49
4	9～ 10	センター内で空車になったトラックの荷台に入り残荷確認を行ったあと、トラックから降りようとした際、トラック荷台の角に足が引っ掛かって落下し、地面にて左足膝を強打した。	44	50～ 99
5	19～ 20	貨物ホームにてトラックの荷台から荷物を持ち後ろ向きに荷運びしていたところ、トラックとホームの隙間を踏み外し、地面に落下した。	31	30～ 49
5	15～ 16	荷主様倉庫において、商品（リーチフォーク）を配送するため、トラックの荷台に積載し、ラッシングベルトで荷締めをし、荷締め具合を確認するためにラッシングベルトを左右に揺さぶったところ、マスト上部のラッシングの帯がリーチフォークの後方にずれて緩んでしまい、バランスを崩して荷台から落ち、着地した際に右足かかとを床面に打ちつけ負傷した。	42	30～ 49
5	14～ 15	当社ヤード構内において、4tトラック荷台扉の開閉作業時に足を滑らせて荷台から落下し、右手首を複雑骨折した。	50	10～ 29
6	13～ 14	当社事業所において、トレーラーの上の荷材（長さ8650mm、幅2770mm、高さ180mm、重さ4600kg）をクレーンで荷卸し中、吊っていた荷材がバランスを崩し、揺れたため避けようとトレーラーの上から飛び降りたところ転び、下にあったパレットの上にあったバルブに頭部上額部をぶつけ、裂傷した。	35	1～9
6	16～ 17	駐車場で、大型ダンプを駐車して降りる際に手が滑り、落下して腰部を強打し負傷する。	65	10～ 29
6	7～8	積み荷の確認のため、荷台の扉を開けようとしたが、扉が固く開けにくい状況であった。そこでレバーを両手で持ち、片足を車体にかけて引っ張ったところ、扉が開き、勢いでレバーから手が離れて後ろ向きに転倒し、地面に腰を打ち付け	41	10～ 29

		た。		
7	11~12	車両をトラックスケールに乗せ計量終了した際に、サイドブレーキを引き忘れた状態でステップに乗り、連結作業を行い台車側のブレーキが解除され、車両が前方に動いたため慌てて飛び乗り、手でフットブレーキを押しサイドブレーキをかけ停車させた。この際右足踵を骨折した。	54	30~ 49
7	16~17	当社駐車場にてトラックから降りようとしたとき、足を滑らせてしまい、トラックのアオりに左脇腹を打ってしまった。	35	1~9
7	23~24	納品先で空のコンテナを回収中、パワーゲートが上がり切る前に荷台へ入ろうとして足を踏み外し荷台床へ転落した。その際に左足首を捻挫した。	34	10~ 29
7	15~ 16	納品先で、トラック後方より商品を専用台車へ降ろそうとしたときに転倒した。その際、右手を地面に突いたときに手首を負傷した。原因としては、トラック庫内の商品が高く積まれていて降ろしづらかった事と、専用台車が動いてしまいステップから降りた時に右足が専用台車の上に乗っかりバランスを崩してしまった事が考えられる。	44	100 ~ 299
7	8~9	構内にて、引越し荷物を4t車から2t車へ積み替え作業中、Lサイズのダンボールを持って4t車荷台から2t車荷台へ移動した際、雨で2t車のテールゲートが濡れていたため左足が滑り、バランスを崩して右足が4t車と2t車の隙間に落ちて、右足脛と股間を負傷した。	66	1~9
7	9~ 10	取引先に集荷に向かうため、駅構内にてトラックに空コンテナを積み込み、コンテナ内部を清掃後、コンテナから降りるときに誤って足を滑らせ、顔面から落下し、左膝・額・顎を負傷した。その際、前歯1本が折れて下唇に刺さり、裂傷を負った。	44	100 ~ 299
7	10~ 11	配達先の家の前で、トラックの荷台から降りる際、ステップに足を掛けたときに足を滑らせ、足首を捻った。目立った外傷も無かったため、午前中の配送を続けたが、午後に右足が大きく腫れて痛みが強くなってきた。	25	30~ 49
7	4~5	高速道路上で、運転するトラックが故障したため発煙筒を点けようと車外へ出たところ、当該故障車が、後から走行してきた3tトラックに追突され、押された当	31	30~ 49

		該故障車と接触して負傷した。		
7	16～ 17	資材置場にて、場内土砂整備に使用した重機をユニック車に積込み、荷台から降りる際にバランスを崩し、地上約1.5mの高さから飛び降りて着地した時、左足踵を強打し受傷した。	56	30～ 49
7	13～ 14	農場にて、大型トラックで鶏の積み込みが終わって、荷台から下に下りる際、1m上から飛び下りたとき、カゴを固定するたて棒のフックを右足の裏で踏んでしまい、誤って刺さり怪我をした。通常、荷台から下に下りる際は、梯子またはタイヤを使って下りるのだが、今回は、荷台から後ろ向きに確認せずに飛び、たまたまあったたて棒で足を刺したものである。	31	30～ 49
9	10～ 11	当該人は、営業所の施設敷地内で、トラック荷扱（トラックの荷台（高さ約70cm）に昇降して検査用の米を採取する作業）中に、トラックの荷台から降りる着地時に左足を骨折した。	44	1～9
9	21～ 22	横持ち車両への承認積み込み作業に於いて、コンテナ内で罹災者が管理帳票を探していた際、当該車輛のドライバーは罹災者がコンテナ内にいる事を気付かずコンテナの扉を閉める為に、出荷バースから車両を前進した。急に車両が動いた事から、罹災者は慌ててバースに飛び移ったが、足を滑らせ背中よりバース下に落下し、腰・背中・頭を強打。事象発生後、センターにて救急車両を手配し、近隣の病院へ搬送。病院にて背中と腰に骨折とヒビが確認された為、即入院となる。	44	100 ～ 299
9	7～8	商品積込時、順次前より積み込みをされていて、荷台の後ろの積み込みをしている時、誤って足を滑らせ、体の左側より転落し、左肘の骨折と手首を打撲する。	56	10～ 29
10	8～9	駐車場内にて重番（資材）回収作業を行っていた。トラック庫内に番重を積み込み、再度番重を取りに行く際に、後ろ向きでステップに足を乗せた時滑り、バランスを崩し落下した。当日は雨天によりステップも濡れていた。落下時、右腰付近を強打した。	43	50～ 99
10	20～ 21	配送途中、休憩を取るためパーキングエリアに立ち寄った。PA到着後、車輛から降りる際、ピラーグリップにつかまりながら右足を先に地面に降ろした。その時、地面がデコボコになっていて右足首を内側に捻る形で着地してしまった。右足首骨折と診断された。	42	30～ 49

10	22～ 23	被災者がトラックで荷室（助手席側脇扉）約100cmより足を滑らせ落下。着地時に足首を捻り捻挫し、腫れが出ている。	47	100 ～ 299
10	11～ 12	空港制限区域内塵介処理場にて、ゴミ回集車からゴミを廃棄するため荷台の扉を開けた後、荷台のダンプ操作を実施した。しかし、ゴミが落ちてゆく様子がなく、荷台の途中で引っ掛かっていた為、荷台の左側後方から棒でゴミを掻き出していたところ、左側荷台扉が閉まり、左肩・腰に当たった。	45	1000 ～ 9999
10	11～ 12	倉庫にて、4トン車（平ボテ）に積み込み終了後、シート掛けをしようと荷台のアオリに足をかけシート受けに常備しているシートを取ろうとした際にバランスを崩し、右足から地上に落下した。	64	10～ 29
10	8～9	低床式倉庫前でトラック積載物の荷卸作業をパワーゲート上（高さ1m）のパレットに手積みしていた時、パワーゲートの端に足を着き、滑ってドライバーが落下した。左側から落ち地面に着地したため、左上腕部を骨折した。	35	30～ 49
11	11～ 12	納品先前路上にて荷降し中、コンテナ後方部よりコンテナ外側に背を向け、商品が積まれたパレットをコンテナ前方部へ押し込もうとしたところ、コンテナ内の足場が狭い場所で、パレットに対して斜め方向より力を込め押し込み、右足が滑ったことで、右後方へ体を捻りながら路面に落下し、左肘を負傷した。	44	100 ～ 299
11	9～ 10	トレーラーの荷台でアングルを道具を使って倒している時に、道具が外れて転倒し、その勢いで荷台から転落し左手首を骨折、顔に擦り傷を負った。当日は仕事を続けたが、状態が良くないので翌日に受診し、骨折している事が分かった。 [対策] 荷台上作業は、荷台上および地面に降りるまで慎重に行動、安全帯を使用する様、再徹底する。	52	30～ 49
12	8～9	荷降ろし現場にて、トラック荷台上で荷降ろし作業中、ビニールで足を滑らせて、荷台から地面へ落下した際、胸部と大腿部を負傷した。	54	10～ 29
12	9～10	花の卸売市場から生花店や葬儀屋に植物や花を配送する際、市場でトラックの運転席から降りるとき、バランスを崩し、着地時に地面に手を着いたところ、右肘を痛めた。	39	10～ 29

12	21~22	作業場で、大型トラックによる荷物搬送作業に取り掛かる際、一旦トラックの荷台に上り状況を確認したあと、トラックから離れる際にトラック荷台から足を滑らせ、肘から落ちて左肘を骨折した。	43	10~ 29
12	10~11	納品先の駐車場で、トラックの荷台から後ろ向きで駐車場に降りようとしたとき、足を滑らせ転倒し、そのまま駐車場に頭・背中から落下した。トラックの荷台の降り口までまだ距離があると思い込み、後ろ向きのまま進み、振り返るのが遅れたため発生した。	54	50~ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html